

◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら

SOS vol. 186通信
H28年2月11日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

生涯の伴侶／愛宕の家

夕食前のひと時。フロアでお喋りしていた話の流れで「Iさんのご主人の名前は？」と聞いた。Iさん「・・・？」
「どうやら出てこない。隣で笑っていたKさんに「じゃあKさんのご主人の名前覚えてる？」
「そりゃあ覚えとるわさ！・・・あれ、何だっけ？」
「またもや出てこない。念のためOさんにも同じ質問。『○○だよ。』(・・・それは娘さんの名前) ちょっとびっくりした。生涯の伴侶の名前が忘れられてる！あるスタッフは『結婚して子供が出来ると、お互いの名前を呼ばずに“お父さん”“お母さん”って言うからねえ。』
「ああ・・・そういうことか。」
名前を呼び合っていた頃は人生の中でもひととき輝いていたと思う(私の思い込み???)
その頃を思い出して幸せな気持ちになって欲しい。だからたまに結婚した頃のお話を掘り掘り聞いたりする(笑) いい顔で話してもらえるとなおさら嬉しい。私も夫を名前で呼んでみようか。気持ち悪がられるのでやめておこう。ちなみに冒頭の3人の方はどうだったかという、安心して下さい、ちゃんと思い出しましたから！(K. T)



誕生会や季節の行事／SOS

忘れてはいけない・・・感謝の心・ありがたい言葉・優しい心・素敵な笑顔・そしてあなたのお誕生日♪♪利用者さんにお手伝いしてもらいながら、28年度の誕生日カードが出来上がりました。全員分の誕生日カードを利用者さんとの合作で今年も真心こめて1枚1枚作っていきます。お楽しみに！！



毎月開催する誕生会は、全スタッフが関わられるように1月～12月まで年間計画で担当が決まっています。ペアを組む者同士で趣向を凝らし、誕生会で何を催すかを考えます。当日までの準備、司会進行・おやつの準備などやることいっぱい！時にはボランティアの方々に依頼して誕生者に花を添えてもらいます。写真の様子は1月の誕生会。
初の男性コーラス“フロイデ”の皆さんと、SOSのコーラス部隊(まだ名前決まっていなかなあ・・・)がお祝いに駆け付けてくれました。あまりの歌の上手さと年恰好から、亡き夫を思い出さず涙する利用者さんあり・・・凄い感動ものでした！
そして、季節ごとの行事も積極的に取り入れます。
今月の節分の際には盛大に豆まきが行われました。利用者さんは邪気を追い払うどころか豆を食べるのに必死で次から次へとポケットにしまい込む姿も・・・(笑)
心に残る誕生会や季節の行事を催したい。どうか、今年も皆さんにとってステキな1年でありますように！！(M. O)

＜利用状況 案内板 (★募集中★満員)＞

★ナイス・ケア **利用者さん大募集♪**
★ナイス・デイ (定員 10名/日)
日 月 火 水 木 金 土
7 7 6 8 6 7 7
★ナイス・ホーム (定員 25名、登録者 19名)
★愛宕の家 (定員 17名中入居者 16名)
★つしま紹介所 ★ナイス・キッズ
～上記を参考にご利用下さい～

＜教室案内＞

・和太鼓 月曜日(年間 35回)
場所：愛西市川淵コミュニティ
・コーラス 水曜日(月 2回)
場所：喫茶てのひら
・バスケット金曜日(月 2～4回)
場所：藤浪中学校体育館
※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。各教室月謝制で、定員あり。詳細はお問い合わせ下さい。

＜2月行事予定＞

3日 節分
10日 外食DAY
20日 避難訓練
24日 誕生日会
いきいきサロン
27日 愛宕の家族懇談会
＜不定期行事＞
天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

『今日は本音を言おうじゃないか♪』と題して、利用者さんやスタッフに突撃取材。嬉しかったこと、悲しかったこと、悔しかったことを聞き、了解を得て写真と共に載せちゃいます。恨みっこ無し♪



体が弱ってきたけど、なんだか皆が優しく声をかけてくれるようになってから寂しくなくてとっても嬉しい。
夕食前(18時頃)トイレに行きたくなったからスタッフに声掛けしたら『この時間帯はバタバタしているからもう少し早い時間に声を掛けてもらいたい。』と言われて腹が立った。

見るべきは人/OJT(社内実践研修)

去年の反省も含め、改めて介助中の様子を見ることから始めました。今更ですが気付いた事があります。
利用者さんの症状や体格は様々です。現状に至った経緯もまた一人ひとり違います。日々の生活で心身の変化があるので、その時その時、どういった行為が出来る出来ない等介護する者の声掛けがどのように聞こえるか、もしくは、聞こえていない等々も含め、いつも同じ状態ではないことは当たり前。
安心して身を任せてもらっているスタッフはその日の様子を確認し、どう関わるべきなのかを瞬時に検討しながら介護している。しかし・・・、拒否されたり不安そうな表情をされてしまうスタッフは、介護の行為に着目するあまり、いつの間にか配慮すべき事柄や今日はどんな心境なのかを見ず、“動いてもらう”ための一方的な介護で精一杯になっている。今なぜこの状態なのか・・・その人を見ないままに関わり始めてしまう場面が多かった。
一生懸命声かけをしても、誘導しても、なかなか上手く関わりがもてず、安心してもらえる介護が出来ない原因。『慌てず、目の前の人をちゃんと見よう。深呼吸して目を見て話そう。そこからしか関わりは始まらない。』人と人の信頼関係を作る。いくら介護の実技を指導しても人を見ていなければ何の価値もない。
本当に今更ですが私自身も手技を見て、介護している人を見ていなかった。キャリア段位を取得した評価者としての自分にも視点の見直しが必要だった・・・と更に反省。
悩みながらの毎日です。(H. O)

生活機能向上連携の成果/ナイス・ケア

脳出血を患い、右半身麻痺・高次脳機能障害などの後遺症が残ったSさん。サービス開始前のカンファレンスにて、「今(入院中)はトイレ介助を2人でやっている。」と聞いた。訪問介護の利用を検討されていたため『1人介助が可能になってから訪問介護が介入していきたい。』と要望を伝える。何故なら2人対応では単価が倍の負担になってしまうからだ。
しかし、「今のタイミングで退院が望ましい」という判断もあり退院。ヘルパーには不安が募る。そこで・・・それを埋めるための方法として訪問リハビリを利用し、訪問介護と連携を取ることが必須となる生活機能向上連携を取り入れることを提案した。
訪問リハビリステーションの理学療法士I先生が担当してくれることになった。生活の場に適した動作や介助方法について連携を取りながらのサービス提供開始。
当初、この連携に慣れていないヘルパー側の戸惑いも見られたけれど、I先生のアドバイスを受けながら、1つ1つの動作を確認し声かけを行いSさんの心身状態に合わせた介助を実践につなげました。
その効果のおかげでトイレ介助も入浴介助もヘルパー1人で対応することが可能な関わりを作ることができました。この生活機能向上連携には、I先生の訪問時に同行するための人員調整等が必要となる。
しかし、約2ヶ月の関わり結果、連携を重ねる度にアドバイスの成果が現れ入浴時にはSさんのリラックスした表情が見られるようになった。状態が変化することもあるけれど、今、安心した表情が見られるのは嬉しい限り。ヘルパー同士の連携も必須。専門職からの知識や技術、今後の関わりに生かしていきます。(H. A)



通いと訪問の連携の例/ナイス・ホーム

ナイス・ホームでは、利用者さんの状態に合わせ、通い・訪問・泊まりの利用予定を臨機応変に変更しながらサービス提案&提供している。当然、連携しているからこそ適宜変更となるのだ。
今回、食直前の服薬が必要となったSさん。薬剤師からは「この薬はご飯を食べる直前に飲むことで効能がある大事な薬」と説明を受けた。

＜Sさんの解決すべき課題＞ 『食事の直前に薬を飲むという習慣を身につける！！』

【短期目標】自分できちんと食直前に服薬が出来るようになる！

【長期目標】食直前の薬を忘れず、食生活リズムも整え、快適な毎日を過ごせる！！

本人の役割：食事の回数や時間帯を意識することで薬の存在を思い出す。

通いの役割：昼食時、Sさんから『薬をくれる？』と意識して言い出してもらえよう、配膳後も箸を持つギリギリまで薬を渡さずに待つ(耐える・見守る)

訪問の役割：食事の時間帯も整えるために「訪問するまでご飯食べずに待ってよ♪♪」と説明し、食生活リズムを整え、加えて、今回の課題である食直前の内服を確実にする。

＜退院から1ヶ月。現状把握と関わり方の見直し＞

本人：薬はちゃんと飲んでる(・・・確かに服薬はできている。)

通い：必ず食事の時『薬ちょうだい』と声はかかるが残念なことに“直前”ではないことが多々。

訪問：食生活リズムが安定せず、訪問時には既に食後。薬は空袋確認。直前に飲んでいるかは怪しい(笑)

さあ・・・どうする。1ヶ月間、固定した関わりの中で見えてきた課題がある。「ここからは臨機応変に関わるべし！！」援助を見直そう。“Sさんにとっての食生活リズム”に合わせて訪問時間を変えてみようか？

訪問時には会話に重点を置き自然に意識付けることはできないだろうか。今からが関わりの本番だ(Y. O)

＜編集後記＞ 最近のキッズ達は太鼓・英語・バスケ・野球と自分の好きな事・やりたい事を見つけている様子。大きくなり留守番が出来るようにもなったし、習い事があればキッズに来る回数も減る。でも、不意に電話がかかってきて『今から行っていい？』と確認して『ただいま～』と来る時がある。思春期の今時キッズ達、何をどのように感じて成長するのか。ナイス・キッズという“いつもの場所”が存在することで立ち立ちする時の根っこ(勇気)に繋がればいいなと思う。(Y. O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。
2月の発送部数 75部